

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東金市長 鹿間 陸郎

市町村名 (市町村コード)	東金市 (12213)	
地域名 (地域内農業集落名)	田間・嶺南地区 (東金町)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年11月21日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・後継者がいない
- ・高齢化が進んでいる
- ・新規で借受けできる農地が少なく、他地区からの参入が難しい
- ・宅地が増え、農地が減っている

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地域の農業者同士の交流がない
- ・農地の一部を市民農園として希望者を集める

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)



注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・耕作者ごとに大規模化、団地化を図る ・規模の大きい農家に委託していく
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地バンクを利用し、団地化を図る
(3)基盤整備事業への取組方針
・10年後の農業のため、基盤整備でほ場の規模を拡大する ・基盤整備により農道の拡幅や用水の改善(バルブで水を管理できるように等)を行う ・水利は現状のものを上手く活用してはどうか
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・積極的に担い手を受け入れる(市内外からの就農希望者を集める) ・新規参入が増えるよう、良い条件を整える(運転資金等) ・大規模農家とのマッチング ・営農組合を立ち上げ、大規模化(50ha程度)を行う
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①ジャンボタニシ、アライグマ、ハクビシンが増えて困っている(意見)
- ⑦水路、道路、水門の管理を組織的に行えないか(意見)
- ⑨燃料や肥料、農薬が高騰している(意見)
- ⑨農業機械が高く、更新や新規導入が難しい／スマート農業に対応した補助金を創設してほしい(意見)
- ⑨農業機械の無償貸与をしてほしい／補助金を増やしてほしい(意見)
- ⑨米価が安く、所得が上がらない(意見)
- ⑨国や市(行政)が農地を買い取り団地化し、耕作者に手を上げさせる(意見)